

○4番（野田明里）（登壇） おはようございます。

みらい新居浜野田明里です。

議員になって覚えた言葉の一つに、一丁目一番地という言葉があります。一番実現させたい最優先課題のことだそうですね。今回の私の質問は、私にとっての一丁目一番地、最優先課題を超えて、私の活動の根源のようなものです。ですので、今回はいつもと違い少しだけ暑苦しいかもしれませんが、どうぞよろしく願いいたします。

古川市長が就任されて初の議会ですので、まずは古川市政の一丁目一番地について伺いたいと思います。

それでは、通告に従いまして質問させていただきます。

まずは、市長の考える新しいにいにはまについて。

四国で一番の子育て支援を一丁目一番地に掲げていらっしゃるようですが、それはなぜでしょうか。

そして、四国で一番の子育て支援とは、具体的にどのような支援をお考えでしょうか。

また、市民はどのような子育て支援を望んでいると感じていらっしゃいますか、お願いいたします。

○議長（小野辰夫） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） おはようございます。

野田議員さんの御質問にお答えいたします。

私の考える新しいにいにはまについてでございます。

四国で一番の子育て支援を市政の重要課題の一つとして掲げた理由といたしましては、子育て支援の充実が、新居浜市の将来を担う子供たちの育成と若い世代が安心して暮らせる環境を整えるために必要不可欠であると認識しているからでございます。少子化が進む中、子育てしやすい町としての差別化は、住みたい、住み続けたい、または移り住みたいと思われるまちづくりの基盤になると確信しております。そのことを踏まえ、具体的な支援につきましては、子育て世代が必要な支援をスムーズに受けられる環境を提供するとともに、教育環境の向上を図りたいと考えております。

次に、市民が望む子育て支援についてでございます。

今までに市民の皆様から安心して子育てを支えられる環境整備など、様々な御意見をお伺いしており、これらの声をしっかりと受け止め、具体的な施策につなげたいと考えております。

今後におきましても、様々な立場の市民や団体の声を聞きながら、未来を担う子供たちの笑顔があふれる新居浜市の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

○議長（小野辰夫） 野田明里議員。

○4番（野田明里）（登壇） ありがとうございます。私も子育て支援の充実を訴え続けているので、古川市長のお考えは、非常にうれしく思っております。改めまして、市長御就任おめでとうでございます。どうぞよろしく願いいたします。

私の下にも子育て世代の皆さんやお孫さんがいらっしゃる方、若い人を応援したいと思ったださる方たちからの期待の声がたくさん届いています。

その一方で、子育て支援以外の支援もしてもらえるのだろうか、子育て世代以外は取り残されてしまうのではとの不安の声も聞こえてきております。そのような不安に感じていらっしゃる声は、認識されていますでしょうか。

また、子育て世代ではない方たちの支援は、どのようにされていくのか、お考えをお聞かせください。

これらのこと以外にも力を入れていきたい取組についてもお聞かせください。よろしくお願いいたします。

○議長（小野辰夫） 答弁を求めます。古川市長。

○市長（古川拓哉）（登壇） 野田議員さんの御質問にお答えをいたします。

子育て支援以外の支援についての不安の声は、私もお伺いをしております。子育て支援の充実とともに、私の公約の柱であります地域経済の活性化、防災能力の強化に取り組んでまいりたいと考えており、誰も取り残さない優しいコミュニティーづくりの実現のため、積極的に現場に足を運び、対話を重ね、市民の多様な声を伺いながら、世代を問わず、市民に寄り添う施策を展開してまいりたいと考えております。

○議長（小野辰夫） 野田明里議員。

○4番（野田明里）（登壇） ありがとうございます。

2月に岡山県奈義町に個人研修にお邪魔しました。奈義町は、人口約5,700人ほどの小さな町ですが、合計特殊出生率が2019年には2.95、2022年に少し減りはしていますが、それでも2.3という少子化とは縁遠い町です。研修の冒頭で、担当の職員さんが、子育て支援は高齢者支援ですとはっきりとおっしゃいました。子供や子育て世代が安定することが何よりの高齢者支援だと。なので、その考えを最初に子育て世代以外の方にしっかりと説明して、納得していただいたそうです。そして、子育て世代ではない方たちに、一番の子育ての応援者になっていただいているそうです。地域で子供を育むとは、まさにこのことだと感じました。子育てしていない方が、いかに子供や子供を育てている人たちに寄り添い、協力し合えるか、そしてそのようにして育てられた子供たちは、きっと地域への愛を育んでいき、いつか自分が大人になったときに上の世代を助け、下の世代を引っ張り上げ、町のためにできることを行っていこうとなるのではないかと感じました。まさに、議会初日に市長がお話しされた優しさあふれ、ぬくもりが感じられる町ではないでしょうか。このようなよい循環をつくり出す第一歩を古川市長にはぜひつくり出していただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。